

共栄ダイカスト 株式会社

鑄造・金型製作から 完成品までフルサポート

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンライン技術
メイドインジャパン
試作可
小ロット
量産対応



ダイカスト鑄造風景

業務内容 ダイカスト鑄造と 金型製作の両輪で展開

自動車部品、カメラ等の弱電部品、建築金物、アパレル資材、鞆金具等を使用されるアルミ・亜鉛製品から、トロフィーやキーホルダー、ノベルティグッズの生産と多岐にわたる鑄造製品を世に送り出している共栄ダイカスト。ダイカスト鑄造のみならず、さまざまな加工を含めた完成品の製作まで請け負うこともある。

金型部門では自社で使うダイカスト鑄造金型や治具を始め、他社のオーダーに応じて図面作成からブラステック成形金型、量産加工用治具や検査治具の設計製作も行っている。



鑄造中の金型部分

強み あえてジャンルを限らない 提案型工場

同社が工場を構えている東大阪は、全国的に知られる製造業の集積地。同業他社の大半が金型のみ、鑄造のみを請け負っているのに対し、同社は企画立案から図面作成、金型作成、製造、パッケージングと、トータルなサポートができる提案型工場として差別化を図っている。

また、ジャンルを特化していない点も同社の大きな強みだ。「例えば、自動車部品とアパレル用品のどちらにも

対応できる工業製品メーカーは多くないでしょう。業種ごとの重点ポイントや管理部分を把握しているのが、対応の幅が他社とはまったく違います」と金崎社長。自身が作成したホームページにある「ものづくりのことは何でも相談してください」の文言が光っている。

新たな展開 直接、消費者に届ける 鑄造品を考案中

企画からパッケージングまで自社でまかなえる強みを活かし、現在、一般消費者に直接、販売できるオリジナル商品を考案中だ。狙い目は、ペットやホビー系といった、価格より好みを重視して購入されるジャンルの商品だ。お得意先のメーカーではなく、消費者がどんなものを好むのかを考えながら試作に励んでいるという。

「鑄造製品は、何万点と納品してもつくり手が最終的な形を目にする機会が少ないもの。商品としてそのまま店頭に出るなら、ものづくりの達成感もきつと違うはず。社員の意識も変わると思います」。チャレンジ精神旺盛な金崎社長の指揮のもと、新しい展開が始まろうとしている。

今後の展望 生産力の拡充を求め 海外進出も視野に

リーマンショックと東日本大震災の余波から、同社も海外の提携工場に製造部分を委託するようになったが、将来的には自前の現地工場も必要になると予測している。生産力の拡充を求めている同社の視線は、海外へも向けられている。

COMPANY PROFILE

共栄ダイカスト株式会社

大阪23

ISO 9001

当社の歴史

昭和45年に父が創業し、工場を4回移転しながら徐々に規模を広げてきました。昔はKKD（勤と経験と度胸）がすべてといわれたこの仕事も、今はそれだけではダメ。職人気質だけで電子機器や電子部品は扱えないので、この10年あまりでやり方も変わってきました。お客さまの要望に対して常に深く考え、答えを出すよう社員にも徹底していきたいと思っています。

トータルなものづくり力を活かした自社製品の製造販売に力を入れていきたい。

代表取締役 金崎 竜三さん



■主な事業内容

ダイカスト製品の企画・製造・販売、金型の設計・製作、加工治具・検査治具の設計・製作等

■主な取引先（納入先）

建築金物メーカー、自動車メーカー、家電メーカー、アパレル等

住所／〒577-0835
東大阪市柏田西
3-9-10
TEL／06-6729-5555
FAX／06-6729-3355
創業／昭和44年4月
設立／平成12年7月
資本金／1,000万円
従業員／30名

<http://www.kyoeidc.com>